

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾地域における学びあい(合い・会い)創出事業
事業主体 (連絡先)	木曾マナビネットワーク (0264-24-0215)
事業区分	(3)教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,109,460円(うち支援金:832,000円)

事業内容

木曾地域にて、中山間地域でのこれからの生き方や働き方を考える学びのプログラムを実施。地域内外の人が交流することで、多様な視点を地域に取り入れる。

- ・全8回の講座「さとくらしカレッジ木曾」の実施
2019年10月~2020年1月
- ・地域の学びを繋げるサイト「fumfum」の作成



【さとくらしカレッジ木曾 01の様子】

事業効果

- ①中山間地域での生き方を考える「さとくらしカレッジ木曾」では、講座8回へ合計118人が参加。
- ②③今回の講座から派生したイベントが7回実施される。また講座イベントボランティアスタッフとして、イベントに共感してくれた13人が協力してくださる。サイト作成を通しては、地域のPR冊子作成チームと連携。

【目標・狙い】

- ①新しい学びの場の創出
- ②地域内外の活動者が木曾地域にて交流する機会づくり
- ③地域にある学びの機会を繋げる、認知率を高める

今後の取り組み

地域内外の講師を招いた学びのイベントを継続的に実施すると同時に、より実践的で長期的な学びのプログラムを実施する。また、都市部や地域外からの参加者への周知のために、木曾地域からの出張イベントも実施するとともに、サイトへの記事投稿を進めイベントの認知率を上げる。

■ 自己評価【A】

【理由】

- ・目標とする講座参加人数を超える人たちに全8回を通して参加していただく。
- ・30-40代を中心とする地域内外の活動者たちがつながる場を創出することができ、次年度の動きの基盤となる学びのネットワークを作ることができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある